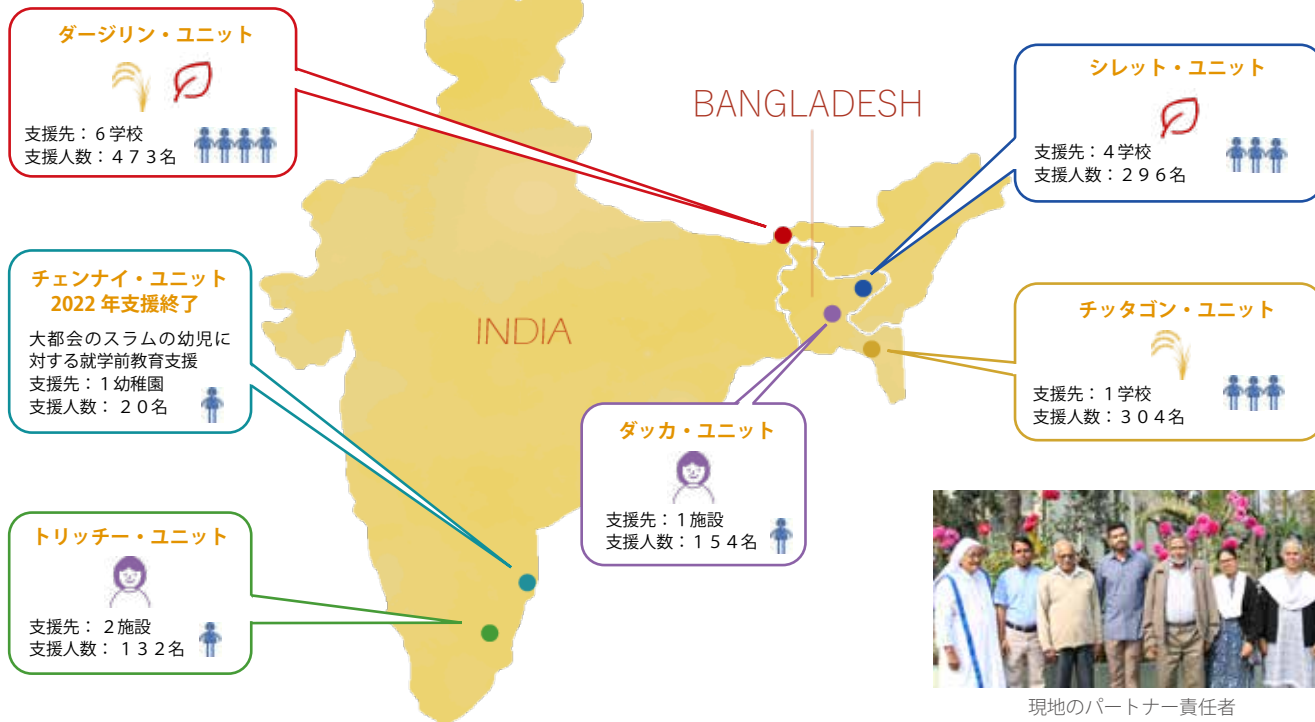


教育支援事業

1,400 人の子どもたち一人ひとりが夢と希望をもって生きていけるような社会の実現をめざして

「教育こそが子どもの未来への道」。E S Aはバングラデシュとインドの中で、教育を受ける権利を奪われた子どもたちに教育支援を実施することで人間の尊厳を守る能力を育て、子どもたちが未来へ向かう力を得る手助けをしています。2022 年度は合計 1,379 名の子ども、学生に対し教育支援を実施し、教育支援費の総額は 17,578,007 円でした。コロナ後、学校はやっと通常に戻り、子どもたちの勉強の遅れや集中力の低下が懸念されていましたが、学校側の努力のおかげで元の状態に戻りつつあります。

活動エリア



E S A の活動のベースは **子どもの権利**

教育の力で子どもたちが、夢と希望を持って生きられるようにするための土台

子どもたちは「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」権利を平等に持っています。

子どもの権利はすべての子どもが健やかに、自分らしく育つために必要な、当たり前のものです。まずはその権利を有することを、子どもたちが、そして周りの大人たちが知ることが大切です。

そして、学ぶ権利もまたすべての子どもたちが平等にもち、守られるべき権利です。しかし、バングラデシュやインドにはこれらの権利が守られていない地域があります。私たちは、子どもの権利を大切にする教育をサポートしています。



質の良い教育を行うために E S A が取り組む 4 つの領域

学力



こころ



健康



環境



支援フィールド



紅茶農園に
住む
子どもたち



過酷な労働者の生活から脱却するための教育

ダージリンやシレットの紅茶農園では、何世代にもわたって低賃金、重労働の過酷な条件下で働いています。貧困から脱却できない仕組みの中で生きる子どもたちが、教育によって自分たちの権利を知り、未来へ希望を抱けるようになってほしい。それが私たちが支援する理由です。

■E S A支援先：7校

バングラデシュ・シレット：

カラゲール小学校 ムングラ小学校
ゴワバリ小学校

インド・ダージリン：

マイケル校 ロバーツ校
テレサ校 メリー校



村落に住む
子どもたち



何も無い生活に光を注ぐ教育

都市部から離れた辺境の農村地域では、まだまだ無償教育が普及していません。教育を受けていない親の収入は低く、子どもの教育費を払うことができません。開発途上国から抜け出して発展を遂げている裏側には、取り残されている地域や子どもたちがいるのです。

■E S A支援先：3校

バングラデシュ・チッタゴン：

ジョナキ小学校

インド・ダージリン：

ノートルダム校 (スンブク、カインジャリア)



女の子の
権利を守る
子どもの家



女の子が力強く生きていくための教育

ダッカとトリッチーの子どもの家では、親との死別や貧困からくる児童放棄など家庭に問題がある女の子たちが生活を共にしています。学校卒業後、自分たちの力で道を切り開いていけるよう、施設のスタッフが親代わりとなって彼らの心身の健康と就学をサポートしています。

■E S A支援先：3施設

バングラデシュ・ダッカ：

ボトムリー・ホーム子どもの家

インド・トリッチー：

セント・ジョセフ子どもの家

アンナイ子どもの家

2022年度の教育支援事業

子どもたちが自分たちの足で立って歩いていけるような学び「NEXT SMILE」スタート



E S Aでは2022年から既定の授業のほかに、人として生きるために必要なライフスキルプログラムを提供することによって、価値観や将来設計の考えを育てる「NEXT SMILE」プロジェクトを開始しました。ゾウさん文庫の翻訳絵本による読書からの学びを発展させたプロジェクトです。

狭い村から出る機会があまりない生活をしている子どもたちも親たちも、村落部独特の保守的で閉鎖的な考えで物事を判断しがちです。このプロジェクトは以下のような内容で取り組みます。

- 子どもたちが学ぶ権利があることを知り、保護者や周辺の人々が親として、大人として果たす義務があることを認識する「人権教育」
- 「心と体の健康」
- 自分の意見をどう表現するかを学ぶ「コミュニケーションスキル」
- 卒業後のビジョンを広げていく「ジョブガイダンス」
- 女の子たちを守る力を育む「ジェンダー教育」「女性のエンパワメント」
- 宗教や文化の「多様性を知る、認める」
- 「自分の村を知る」

どれも新たな時代をたくましく力強く生きていくために、そして子どもたち一人ひとりが自身の力で夢と希望を持って生きていける地域社会の実現を目指すには必要な学びです。E S Aはこれらの教育を実現し、さらに子どもたち、女性たちが自分の未来への視野を広げ、人生の選択肢を広げることができるようサポートします。



生活向上プロジェクト

支援額：¥258,954

支援地域：バングラデシュ・チッタゴン 女性のための染色と縫製教室 (WE プロジェクト)
(インド・ダージリン 家畜飼育プロジェクト)

チッタゴンのWEプロジェクトには新たに10人加わり、合計22人が染色と縫製のワークショップで技術を磨き、製品製作も行いました。しばり染めの布で作ったサリーやショールをチッタゴンの町の人々に紹介したところ、大変好評でした。また1月末に行った学校祭ジョナキメラでもポーチが売り切れとなり、参加者も製作意欲にあふれています。何年もこのワークショップに関わっている女性は指導者となり、製品を販売することで収入を得られるようになっていきます。



指導者育成・上級生支援

日本で技能実習生として働く学生も。

支援額：¥1,065,775

支援地域：インド・ダージリン 指導者育成 11人 上級生支援 2人

バングラデシュ・ダッカ 上級生 4人、チッタゴン 上級生 3人



Yahoo! ネット募金



E S Aの支援後も志が高く学ぶ意欲はあるが、経済的な理由で進学できない子どもたちの未来を応援するプロジェクト。

ダージリンでは大学で日本語、看護学、生物学などを専攻する学生の支援を実施しました。そのうち日本語を習得した一人の学生は1年間の寮生活を終え、現在は日本に來日し、技能実習生として働いています。ダッカでは、ボトムリーホームの卒業生の中から将来、看護師などを志望する女子の高校進学を支援しています。チッタゴンではジョナキOBの1～2期生が通信教育で大学に通いながら、ジョナキ小学校の補助教員として社会経験を積んでいます。自分が働いたら家族を支えたいとそれぞれが懸命に努力しています。



オンラインカンファレンス開催 2022年2月と5月

全支援先のパートナー責任者と理事会がオンラインで支援先の現状を共有し、中期計画について話し合いました。

3年越しに絵本や手作り教材が子どもたちの手に！

ゾウさん文庫・手作り教材プロジェクト --- 教育環境整備事業

2022年度も、たくさんの個人や企業の皆さまにご参加いただいた手作り教材とゾウさん文庫翻訳絵本プロジェクト。ゾウさん文庫は、友情や情操教育的な内容だけでなく、科学的な絵本も取り入れて、体や自然のことを楽しく学んでもらえるような絵本が新たに5種類加わりました。

そして、コロナ禍で現地の子どもたちにずっと届けられずにいた3年分の絵本と教材を、12月によやく送ることができました！絵本が合計600冊以上、それにABCブックとベンガル数字カード合わせて760冊。全部で16箱の段ボールはすべてそれぞれの学校・施設に無事届き、皆様の心の込めた絵本や教材を3年越しに子どもたちに届けることができ、ほっとしています。



届いた日本の翻訳絵本に興味津々の子どもたち

に広げる子どもたちの姿や、授業中に算数やABCブックを使って学習する子どもたちの姿から、教材が子どもたちの成長に一役買っていることが垣間見られて嬉しいです。

2023年は新たな教材を！

ABCと算数の教材を3年分まとめて現地に届けましたので、今年度の新規の参加募集はしばらくお休みします。手作り教材プロジェクトもスタートから10年。時代の変化と共に教育の内容や質も変化しています。NEXT SMILEプロジェクトに対応するため、現在新たな教材の開発中です。完成したらホームページやSNSにてお知らせします。なお、ゾウさん文庫は新たな絵本5冊ほどが仲間入りする予定ですので、引き続きお申込みいただけます。



教育環境整備事業

子どもたちの学びを守るためには、安心して安全に学べる環境を整えることが大切です。インド・ダージリンの紅茶農園にセント・メリー小学校を建設したのが最初の事業で、その後、南インドの2つの子どもの家（児童養護施設）、バングラデシュでのジョナキ、ムングラ、カラゲール、そしてゴワバリ小学校、ダージリンのノートルダム校別棟の建設と、20年間で6つの学校建設と2つの児童養護施設の建設をしました。現地のパートナーと相談しながら、それらの建物のメンテナンスや環境作りを実施しています。

シレット・ユニット

ゴワバリ小学校

机とベンチの修復

支援額：¥170,735

長年の使用で虫に食われてしまい表面がでこぼこになってしまった机とベンチを地元の家具職人さんたちに学校に来てもらい、新しく作り直しました。バングラデシュの村では既製品のスチール机ではなく、こうして材木から作ります。これで子どもたちもささくれだった机でケガすることなく、滑らかな表面になって勉強しやすくなりました。

SOMPO ちきゅう倶楽部様より10万円のご提供をいただきました。



チッタゴン・ユニット

BANGLADESH

ジョナキ小学校

建国の父ムジブコーナー設置と太陽光パネルの電池交換とその他修繕

支援額：¥464,521

政府から要請があり、独立50周年を記念して、建国の歴史を知る図書などの常設コーナーを設置しました。視察の教育省の役人たちからは新しく完成した多目的教室の一角の展示に非常に高い評価をいただきました。学校の敷地内や授業の様子なども見学し、貧しい子どもたちへの質の良い教育を提供するモデル校として、地域に貢献している教育機関と認められました。ほかに、太陽光パネルの電池交換を行いました。



これからの教育環境整備

バングラデシュにE S Aが開校した4つの小学校はまもなく20周年を迎えます。20周年を節目として様々な記念事業を計画しています。

- **20周年の集いを開催**。学校の開校や運営に貢献した人々と卒業生を学校に招くとともに、オンラインで日本の方々ともつなぎ、この20年を振り返り、その成果をみんなで共有します。
- 今後も校舎を安全に使用するため、そして環境の変化にも対応するための**大規模修繕を実施**
- この20年の成果の整理と今後の20年を見据え、さらなる質の良い教育の普及と地域の発展や学校の自主運営に向けた課題の洗い出しのための**現地調査を実施**
- 質の良い教育の普及、地域発展のために**ジョナキ小学校の多目的ホールを建設予定**

これらの事業は今後3年間で実施し、それには総額600万円ほどの資金が必要となります。バングラデシュの子どもたちの未来に投資してくださる方を募集しています。すでに声を上げてくださっている方もあり、非常に心強く思いますが、まだまだ資金は不足しておりますので、金額の多少にかかわらず、E S Aテレジア募金20周年記念事業へのご協力をお願い申し上げます。



ダーズリンから皆様へ感謝を込めて

— 2022年度の振り返りと子どもたちの様子

ノートルダム校教師代表
アリナ・ライ より

私たちの生徒にご支援ださっている皆様に、心から感謝を申し上げます。

この1年は、私たちにとって非常に波乱に満ちたものでした。コロナのパンデミック後、子どもたちを学校に迎えたものの、ほとんどの親が授業料を払えなくなってしまいました。しかし、皆様のご支援により、子どもたちは

質の良い教育を継続して受けることができました。学生たちをパンデミック前の規律ある学校生活に戻したのは、教師の努力と専門知識でした。よく勉強し、より良い人格と知性を持つ人間になるために、さまざまな活動を通して、子どもたちの総合的な能力向上を先生方と協力して続けています。

生徒の親たちは瓜の栽培や牛の飼育で生計を立てていますが、瓜は町の市場までの輸送費用がかかると利益はほんのわずかで、生活レベルが極めて低い状況です。長年の教育の成果によって親の教



育に対する熱意は高まり、貧しい生活の中でもどうにか教育を受けさせようと努力を続けています。資金難で運営がうまくいかない公立学校、授業料が高い私立学校という選択肢の中で、子どもたちの中退率が非常に高くなっていますが、私たちの学校は、見知らぬ子どもたちに手を差し伸べてくださる支援者の皆さんのおかげで、質の良い教育を最低限の費用で受けることができ、途中でやむなく退学することなく小学校から中学校、そして高校へと進学する子どもが増えています。貧困に耐えかねて遠方まで仕事を求めて移住する親たちもいますが、祖父母や親せきのもとに残された子どもたちは、安全とはいええない状況にあり、学校としても特別な注意を払っています。

皆様からのご支援はこの地域の子どもたちにとってなくてはならないものであり、授業料の不安が軽減されたことで学習意欲は向上し、目標である10年生の中学卒業共通試験に33人の子どもたちが臨むことができました。

私たちの生徒が教育の機会に感謝し、懸命に学ぶことは間違いありません。皆さんの親切なご厚意は子どもたちのお手本となり、近い将来困っている人に手を差し伸べる人となるでしょう。



コルカタへ修学旅行



E S Aの集いで寸劇



サッカー競技会

E S Aユースチーム 2022年度の活動

2022年度の活動は、いまだに新型コロナの制約を受けながらも、オンラインでの勉強会に加え、グローバルフェスタなど対面イベントでの活動も増やすことができました。夏にはユースの食卓No. 2として、チャイを作って飲みながら、バングラデシュの紅茶農園について学ぶワークショップを実施しました。はじめてのユース主催の外部向けイベントでしたが、参加者の皆さんと楽しく学びのある会にすることができました。ただ、ここ数年、活動がオンライン中心で、メンバー同士の親睦が深められていないことや、学業や部活などとの両立が難しいなどの理由で、活動への参加率が伸び悩んでいるなどの課題もあります。今年度からは、スタディツアーも復活し、さらに対面での活動を増やすことができそうなので、皆で仲良く楽しくユースの活動を盛り上げていければと思います。

(ユースチーム副代表 市原 京)

メンバー募集中!



狛江くらしフェスタに参加



夏休みに「ユースの食卓」を開催

オリジナルスパイスセットなどの販売 "Spice for Happiness!"

スパイスと紅茶 14,000 個以上をお買い上げいただき、
昨年よりさらに多くの子どもたちの教育支援につながりました！

E S A は「3 袋の購入でバングラデシュの子どもが 1 ヶ月学校に行くことができる」
とのコンセプトで、本格カレーができるスパイスセットを販売しています。

2022 年度もコロナの影響で対面イベントはほぼ実施できない中、後半はグローバルフェスタ
や狛江市くらしフェスタなど徐々に行事も再開されました。年間を通して企業や学校、教会の
皆様がそれぞれ販売会やとりまとめ注文をしてご協力くださいました。ネットショップでは夏
と年末に 2 回キャンペーンを実施し、リピーターの方々を含め多くの方にご購入いただきました。また、株式会社
エイチ・アイ・エス様がオンライン体験ツアーのメニューに E S A のスパイスセットをご利用くださり、1000 名以
上の参加者に周知できました。ご協力いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。



2年ぶりにグローバルフェスタ・
ジャパンに出展。ユースが大活躍。

販売・食提供協力団体： アクセンチュア株式会社、SCSK グループ社会貢献活動クラブ Earth One、OKI クロステック労働組合、
(敬称略) 株式会社エイチ・アイ・エス、株式会社フジランド、株式会社ポニーキャニオン、損害保険ジャパン
株式会社、東亜ディーケーケー株式会社、日本メドトロニック株式会社、三菱商事株式会社、三菱食
品株式会社、リフィニティブジャパン株式会社、狛江市、杉並区交流協会、江戸川ベース nappa、カ
ナズギャラリー、Sow、大口明光学園一粒会、大妻女子大学、カリタス女子中学高等学校、聖イリナ
モンテッソーリスクール、清泉インターナショナルスクール、聖ドミニコ学園中学高等学校、世田谷
区立赤堤小学校、千葉県立船橋二和高等学校、東洋英和女学中学高等部、目黒星美学園中学高等学校、
阿佐ヶ谷東教会、渋谷教会、瀬田教会、函館聖ヨハネ教会

委託販売先： AND shop (ネット)、安曇野ハーブスクエア (安曇野市) おしゃマル (茅ヶ崎市) せたがや縁側カフェ
(敬称略) (世田谷区)、TETENTOTEN (世田谷区)、やすらぎの杜パン工房 (練馬区)、coast to coast (渋谷区)、
ホトリテイ (萩市)、よちよち屋 (相模原市)

2022 年より E S A のスパイスセットを販売してくださっているショップをご紹介します！



おしゃマル

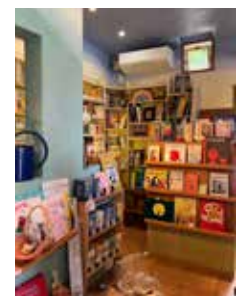
〒 253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町 1-1
ラスカ茅ヶ崎 5 階
Tel : 0263-83-7782
営業時間：10:00 ~ 20:00
定休日：年中無休 (館に準ずる)
Instagram : shonan.oshamar



私が E S A のスパイスと出会ったのは数年前、友人からのプレゼントでした。当時私はグルテンフリーを始め、カレールウを買わないことにも慣れ始めており、なかなかスパイスを買い揃えることも難しくなんとなく食卓にカレーが並ぶことが少なくなっていました。
初めて食べた時の衝撃は忘れません。まず作り方が至ってシンプルなこと、そして味もシンプルながら味わい深く、食卓に出した際には家族からも「お店で食べる味みたい！」と大絶賛でした。
私共おしゃマルではなるべく環境や人に優しいものをセレクトし販売しております。その中で教育支援にもつながり、そして身体にも優しい。そんな E S A のスパイスは絶対に取り扱いたい商品でありました。
お客様からも「市販のカレールウを買わなくなった」「友人へのプレゼントにしたい」など多くのお声を頂き、喜んでいただいております。こういった形でインドやバングラディッシュの子どもたちとつながれることは子どもをもつ一人の親としても嬉しいことでもあります。
みんなに優しい地球を目指して、微力ですがこれからも湘南エリアでも多くの方に手にとっていただけるように。(おしゃマル 浦野)

よちよち屋

〒 252-0313 神奈川県相模原市南区松が枝町 9-21
(小田急相模原駅徒歩 5 分)
Tel / Fax : 042-746-6117
営業時間：金 土：11:00 ~ 17:00
日 祝日：13:00 ~ 17:00
定休日：月火水木 (各種講座・イベントのみ開催)



相模原にある児童書とシュタイナー関連のおもちゃを扱っています。絵本の選び方・読み方講座や本を深く味わう講座なども行っています。
友人からもらった E S A のカレースパイスを作ってみたらとても美味しく、お店のラインナップに加えました。買うことでバングラディッシュの子どもたちが学校に通えることにつながると、お客様にも好評です。今では絵本とシュタイナーのおもちゃのそばにいつもあります。(よちよち屋 中本)

普及啓発事業および国内活動

初！チャリティウォークイベント「てくてくハッタ」開催



133名の参加者がジョナキ小学校の子どもたちと歩いて1万4000キロ達成！

11月にウォークイベント「てくてくハッタ」をNEXT SMILE プロジェクトのために開催しました。2週間専用アプリを利用して参加者がジョナキ小学校の子どもたちと日本⇄ジョナキ小学校を往復1万キロ歩こう！というコンセプトで、歩数を参加者と競いながら楽しく健康増進×社会貢献することができました。二子玉川から狛江まで河川敷を歩くリアルウォークイベントでは、青空のもと心地よい風に吹かれながら参加者と楽しく歩き、最後はジョナキ小学校の子どもたちとライブ交流で盛り上がりました。ほかに参加者には賞品授与や毎日10分ヨガ、ゲストウォーカーの上田玲さんとのトークライブなども配信し、お楽しみいただきました。



今後「てくてくハッタ」は定期的開催予定です。この「健康増進×社会貢献」イベントはスマホがあればいつでもどこからでも好きなときに歩いて参加できますので、皆さんぜひご参加ください！

協賛企業：アフタヌーンティー・ティールーム、ギャップジャパン株式会社、ゴールドマン・サックス（敬称略）



手作り教材プロジェクト

個人や企業、学校などたくさんの方々のご協力により、ゾウさん文庫の翻訳絵本287冊と手作り教材約320冊が作成されました。コロナの影響でストップしていた輸送が再開され、3年ぶりに子どもたちの手元に届けることができました。（以下敬称略）

協力団体：SCSKグループ社会貢献活動クラブ Earth One、オムロン株式会社、オムロンエキスパートリンク株式会社、株式会社ジェーシービー、コヴィディエンジャパン株式会社、ゴールドマン・サックス、デロイトトーマツグループ、東京海上日動事務アウトソーシング株式会社、日本メドトロニック株式会社、三菱商事株式会社、NPO法人わびねす、カリタス女子中学高等学校アンジェラスの会、三宅島社会福祉協議会、柳川市社会福祉協議会



オンラインイベントとお話会

コロナの影響で対面でのイベントや講師派遣はあまり実施できませんでしたが、Zoomによるオンラインでのイベントや活動紹介、また料理教室を実施しました。株式会社エイチ・アイ・エス様の24時間ライブツアー2022ではジョナキ小学校とチッタゴンの町の様子を300名以上の参加者の皆様へ紹介することができました。（以下敬称略）

お話会・講師派遣／カリタス小学校、聖ドミニコ学園中学高等学校、聖イリナモンテッソーリスクール、狛江市の保育園、目黒星美中学高等学校、清泉インターナショナルスクール

料理教室開催：OKIクロステック労働組合

Special Thanks – コーズマーケティング（購入を通じた社会貢献）をしてくださった企業の皆様

アフタヌーンティー・ティールーム様の6週間に渡る「ティーフェス」での紅茶の売上げの一部を、また、りんごのきのした農園様も売上げの一部を寄付してくださいました。またボランティアベンダーを設置し自動販売機の売上げの一部を寄付してくださいました株式会社八洋様、エフ・ケイ・ジェイ株式会社様はじめ企業の皆様、ありがとうございました。

国内での人権教育「きみとぼくの大切なものさがし」--- 啓発事業

ESAは、教育の大切さを様々な形で日本の子どもたちに伝える事業を実施しています。従来のプログラムに加え、「子どもの権利」に焦点を当てたワークショップ「きみとぼくの大切なものさがし」を作成しました。「子どもの権利条約」を理解しながら、どうしたら権利を奪われた子どもを守るのかを参加者と一緒に考えていきます。このワークの一番の目標は、世界中の誰もが同じ権利をもつ同じ重さの大切な存在であることに気づくことです。難しいイメージのある「権利」ですが、そこから様々な世界を知り、自分自身も大切な存在だと気づき、同時に他人への思いやりの心を育てていく講座を実践していきます。



小学生から社会人までを対象にしたこのワークショップ、2023年度から出張授業を受付けます！
ご興味のある方は、ESA事務局までお問合せください。

活動計算書・予算書

2022年1月1日～12月31日 / 2023年1月1日～12月31日

科目	2022年度予算		2022年度決算		2023年度予算	
	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業
I 経常収益						
1 受取会費						
受取運営会費	720,000	0	582,000	0	624,000	0
2 受取寄付金						
教育スポンサー支援金	9,650,000	0	9,296,100	0	8,960,000	0
ESA サポーター支援金	350,000	0	477,280	0	350,000	0
マンスリーサポーター					1,248,000	
テレビジョン募金	12,000,000	0	10,810,173	0	13,000,000	0
3 受取助成金等						
受取助成金	1,000,000	0	1,230,000	0	1,300,000	0
4 事業収益						
教育支援事業収益	2,280,000	0	2,047,500	0	2,300,000	0
普及啓発事業収益	150,000	0	335,945	0	500,000	0
その他事業収益	0	8,600,000	0	9,197,242	0	9,000,000
5 その他収益						
受取利息	1,000	0	200	0	1,000	0
雑収益	30,000	0	13,723	0	10,000	0
経常収益計	26,181,000	8,600,000	24,792,921	9,197,242	28,293,000	9,000,000
II 経常費用						
1 事業費						
(1) 人件費						
給料手当	4,040,000	1,580,000	4,118,365	1,104,220	4,152,000	1,799,200
法定福利費	310,000	100,000	329,269	109,759	340,000	175,000
保険料	0	7,500	0	8,050	0	8,050
人件費計	4,350,000	1,687,500	4,447,634	1,222,029	4,492,000	1,982,250
(2) その他経費						
教育費	17,999,915	0	17,578,007	0	20,184,369	0
教育施設設備費	1,645,938	0	1,244,130	0	1,560,000	0
海外渡航費	200,000	0	0	0	500,000	0
広報活動費	2,280,500	934,500	463,640	180,305	1,332,000	518,000
印刷費	114,000	49,400	81,444	31,526	120,000	52,000
通信費	300,000	130,000	364,630	141,147	348,000	150,800
水道光熱費	78,000	33,800	105,402	40,801	114,000	49,400
地代家賃	624,000	748,800	624,000	748,800	650,000	780,000
備品消耗品費	258,000	111,800	124,672	48,261	240,000	104,000
事務費	330,000	143,000	339,660	131,481	360,000	156,000
支払手数料	300,000	0	287,501	0	300,000	0
旅費交通費	290,000	430,000	260,326	390,242	260,000	390,000
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0
物品販売事業費	0	3,300,000	0	3,113,090	0	3,250,000
その他経費計	24,920,353	5,881,300	21,473,412	4,825,653	26,468,369	5,450,200
事業費計	29,270,353	7,568,800	25,921,046	6,047,682	30,960,369	7,432,450
2 管理費						
(1) 人件費						
給料手当	880,000	0	960,042	0	968,800	0
法定福利費	100,000	0	109,757	0	100,000	0
保険料	3,000	0	2,450	0	3,000	0
人件費計	983,000	0	1,072,249	0	1,071,800	0
(2) その他経費						
旅費交通費	100,000	0	74,142	0	75,000	0
印刷費	26,600	0	18,390	0	28,000	0
通信費	70,000	0	82,336	0	81,200	0
会議費	10,000	0	2,494	0	10,000	0
諸会費	70,000	0	54,166	0	55,000	0
水道光熱費	18,200	0	23,800	0	26,600	0
地代家賃	187,200	0	187,200	0	195,000	0
備品消耗品費	60,200	0	28,152	0	56,000	0
事務費	77,000	0	76,697	0	84,000	0
支払手数料	265,000	0	209,757	0	265,000	0
保険料	35,000	0	38,440	0	40,000	0
修繕費	20,000	0	0	0	20,000	0
新聞図書費	0	0	4,840	0	0	0
租税公課	3,000	0	1,500	0	3,000	0
雑費	3,000	0	26,500	0	3,000	0
為替差損	0	0	0	0	0	0
予備費	500,000	0	0	0	500,000	0
その他経費計	1,445,200	0	828,414	0	1,441,800	0
管理費計	2,428,200	0	1,900,663	0	2,513,600	0
経常費用計	31,698,553	7,568,800	27,821,709	6,047,682	33,473,969	7,432,450
当期経常増減額	-5,517,553	1,031,200	-3,028,788	3,149,560	-5,180,969	1,567,550
経理区分振替額	1,031,200	-1,031,200	3,149,560	-3,149,560	1,567,550	-1,567,550
法人税・住民税及び事業税	220,000		145,400		250,000	
当期正味財産増減額	-4,706,353		-24,628		-3,863,419	
前期繰越正味財産額	49,089,952		49,089,952		49,065,324	
次期繰越正味財産額	44,383,599		49,065,324		45,201,905	

(単位：円)

■補足説明

2022年度決算について

経常収益

- ◎受取寄付金・テレビジョン募金に含まれる主なもの：ソウさん文庫・教材(1,193千円)、給食プロジェクト「Happy Plate」(108千円)、切手・書き損じハガキ寄付(530千円)
- ◎受取助成金：大阪コミュニティ財団(700千円)「健康増進・給食のため」、積水ハウスマッチングプログラム(300千円)「ホームページ改定」、真如苑(230千円)「人権ワークショップ啓発事業」
- ◎事業収益：教育支援事業はカレスク支援金、普及啓発事業はチャリティウォークイベント「てくてくハッタ」や講師派遣の講師料
- ◎その他事業収益：事業復活給付金(1,000千円)、スパイス、紅茶などの物品販売は徐々にコロナ前に戻りつつある。

経常費用

- ◎教育費：教育費、給食費、活動費、現地教師などの給料、教師トレーニング費、スキルトレーニング費などが含まれる。
- ◎教育施設設備費の詳細は7ページ参照。
- ◎海外渡航費：コロナ禍が長引き実施できず。
- ◎広報活動費：ホームページ改定着手と作成の伴走支援、チャリティウォーク「てくてくハッタ」実施、人権教育の啓発事業のため、支援者管理システム開発のため。
- ◎通信費：海外との通信費、支援者・寄付者との通信費、機関紙送料、電話代など。
- ◎水道光熱費：光熱費値上がりによる増加。
- ◎備品消耗品費：電話機購入、リモートワークのためのネット環境、クラウド使用料など。
- ◎2022年度支出決算額の事業費と管理費の割合：事業費94%、管理費6%

2023年度予算について

経常費用

- ◎教育費、教育施設設備費に関しては、2022年最終営業日の為替レート、1バングラデシュタカ1.258円、1インドルピー1.75円で算出。
- ◎教育施設設備費：CHI教材印刷、電気配線工事、排水土壌洗浄、全地域の学校建物維持費。
- ◎海外渡航費：バングラデシュ視察とスタディツアー実施予定
- ◎広報活動費：ホームページ改定、広告費、イベント、動画作成費、啓発事業費など含む。

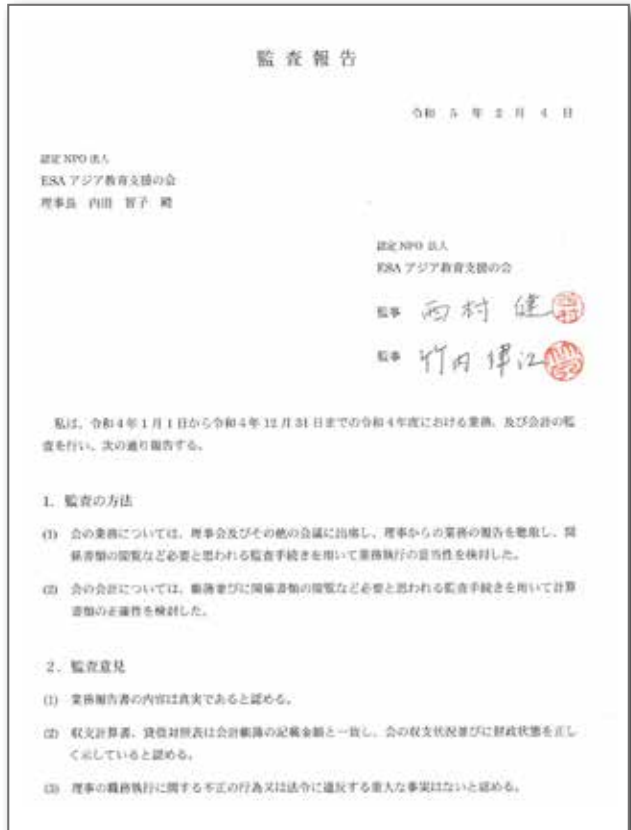
貸借対照表

2022年12月31日現在

《資産の部》			
【資産】			
(現金・預金)			
現金	115,783		
定額預金	3,000,000		
定期預金	4,031,506		
振替口座	1,109,603		
普通預金	39,957,799		
通常貯金	2,137,555		
現金・預金 計	50,352,246		
(棚卸資産)			
商品	261,963		
貯蔵品	300,391		
棚卸資産 計	562,354		
(その他流動資産)			
未収入金	158,540		
前払費用	494,409		
立替金	4,070		
仮払金	138,230		
その他流動資産 計	795,249		
資産の部 合計		51,709,849	
《負債の部》			
【負債】			
未払金	2,590,245		
預り金	54,280		
負債の部 合計		2,644,525	
《正味財産の部》			
【正味財産】			
前期繰越正味財産	49,089,952		
当期正味財産増加額	△24,628		
正味財産の部 合計		49,065,324	
負債および正味財産合計		51,709,849	

監査報告書

監事の西村健氏と竹内律江氏から下記の監査報告を受けました。



ユニット別の教育支援費の詳細

(単位：円)

ユニット名		グループ (G) の数・子どもの数			教育費※	
		基礎教育	指導者育成・ 上級生支援	生活改善	予算額	決算額
インド	ダージリン (DAJ)	7グループ 418人	13人	42人	4,834,800	5,094,863
	トリッチャー (TRC)	2グループ 132人			1,002,150	853,400
	チェンナイ (CNN)	1グループ 20人			393,720	432,285
バングラデシュ	ダッカ (DAK)	1グループ 150人	1グループ 4人		1,559,760	1,589,586
	シレット (SYL)	4グループ 296人			3,488,749	2,677,622
	チッタゴン (CHI)	1グループ 279人	3人	22人	6,720,736	6,930,251
16グループ、個人 合計 1,379人					17,999,915	17,578,007

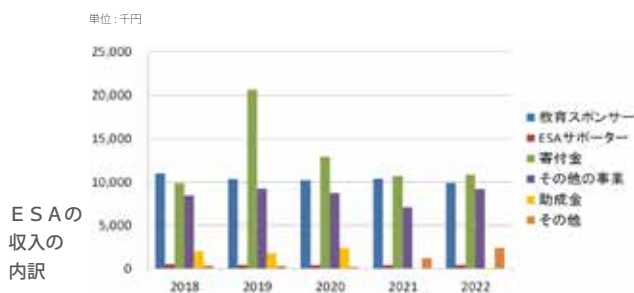
※教育費には授業料、制服、教科書、給食費、医療費、行事費、補習授業料、教師トレーニング、スキルトレーニング費、その他補助費が含まれる。

■予算決算比・補足説明

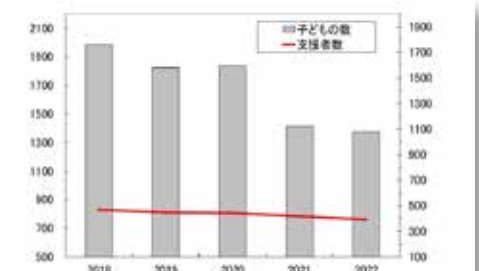
- ①：上級生の減少
- ②：為替レートの変動
- ③：支援終了に際し、支援額変更
- ④：コロナ禍による給食提供数の減少、運営費の減少、教師トレーニング数減
- ⑤：運営費の増加

支援者数 (2022.12.31 現在)

●教育スポンサー数 287名 (前年度 318名) ●ESAサポーター数 105名 (前年度 129名) ●カレスクサポーター数 277名



支援する子どもの数と支援者数の推移



事業計画 2023年1月1日～12月31日

事業計画概要

中期事業計画に基づいた事業運営

子どもの権利を大切に、総合的な学力やライフスキルを伸ばす教育を提供することで、中学、高校への進学を助け、落第率を下げ、自信を持って自分の将来を選択できるようにする。

教育の質の向上と内容の充実

- 1) 「NEXT SMILE」プロジェクト（人権教育を基本とし、子どもたちが将来に希望をもって学業に取り組むことができるための様々な事業）の実施
- 2) バングラデシュにおいて、教師の育成、指導力向上のためのトレーニングを継続。
- 3) 子どもたちの情操教育や想像力の向上、広い世界の様々な知識を吸収させるために良書の普及に努め、習熟度を上げる手作り教材を日本で作成し、現地に提供する。
- 4) シレットの学校運営体制の基盤を強化する。

教育環境整備事業の実施

教材の提供や学校施設の補修等を通して、安全な教育環境を整える。また施設の長期修繕計画立案に努める。

教育支援事業

バングラデシュ、インドの5ユニットで次の支援を行う。

基礎教育支援：15グループ（約1400人）に対し、貧しい子どもたちが既存の学校に通い高校を卒業できるように教育費、及び寮費を支援。また周辺に通学できる学校がない村では、その地域の子どもたち全員が通えるような小学校を運営し、授業料、制服、教科書、教材、補習授業、行事、医療、給食などを支援する。高校までの教育の体制が整っていないバングラデシュの村落部では、小学校を卒業した子どもたちが自らの力で中学、高等教育へ進学できるよう質の良い教育を提供することで基盤作りを行う。

給食支援「Happy Plate」：バングラデシュでE S Aが運営する4小学校において、栄養状態の改善に努める。他の支援先でも健康管理への意識の向上、必要に応じた栄養改善の支援を行う。

指導者育成支援：卒業生の中から、将来リーダーとなって地域社会や母校に貢献する、または貧しい人々のために働く、などの意志を持つ成績の優れた者（20人程度）に対し、高等教育支援を行う。

現地訪問：バングラデシュの訪問ではコロナ後の子どもたちの状況の確認、運営体制の見直しや卒業生の動向を調査。4年ぶりにスタディツアーも実施予定。

教育環境整備事業

整備・補修：現在教育支援を行っている教育施設の自然災害、経年劣化による建物の安全性を点検し、必要な整備や補修、大規模修繕計画を立て、子どもたちの安全を確保する。

バングラデシュの学校20周年に向けた準備

- 1) チッタゴンのプロジェクト評価調査の実施
- 2) 2024年バングラデシュ4小学校の開校20周年記念行事開催に向けた準備

地域の生活向上

支援する子どもたちの親や学校のある地域の生活向上のための様々な職業訓練を企画立案、実施する。村の女性を対象に縫製、染色など手工芸の技術指導を実施し、収入増を目指す。

国内での人権啓発事業

「子どもの権利」に関するワークショップを実施し、日本でも「子どもの権利」について共に考え、子どもたちの健全な成長を守りながらより良い社会作りに貢献する。

賛同者拡大を目指す

マンスリー制度導入やカレスク、ウォークイベントなどの様々な参加の形を、新たなホームページで紹介できるよう刷新。活動への理解と賛同者拡大を目指す。

教材の提供：「ソウさん文庫」プロジェクトとして、子どもたちに様々な知識を授ける良書を日本で厳選、翻訳し年間400冊程度提供する。新たな手作り教材の開発を行う。

普及啓発事業

- ◎日本国内における「学ぶことの大切さ」「子どもの教育を受ける権利」や支援地の現状への理解を深める活動を実施する。
 1. 教育機関や企業等に対し、E S Aの活動に関する講師派遣（オンラインも含め）を実施する。
 2. 「子どもの権利」に関するワークショップ講座の教材を完成させ、より良い社会の在り方について共に考える機会を提供。
- ◎スマホ対応によりアクセスしやすいホームページに改訂し、より多くの人々がアクションを起こしやすい施策を検討、実施する。新規導入した支援者管理システムを活用して、より効果的な広報戦略を実施する。
- ◎マンスリーサポーター制度を導入し支援者の拡大施策を講じる。
- ◎「カレスク」（カレースパイスつき教育支援サブスク）の参加者の継続・拡大に向けてのキャンペーン戦略を講じる。
- ◎会報誌JOYを年2回発行、オンライン報告会の開催やてくてくハッタの開催を通して支援者とのコミュニケーションを図る。

その他事業

- ◎新商品発売に合わせ、宣伝を強化する。
- ◎スパイスの価格改定。
- ◎E S Aオリジナルスパイスの企業における社内販売や委託販売店舗を増やすなど、販路拡大に努める。
- ◎スパイス専用ホームページを開設し、さらに購入層を広げる。